



## 2024年10月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年6月13日

上場会社名 株式会社 シャノン 上場取引所 東  
コード番号 3976 URL <https://shanon.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 健一郎  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 CFO兼経営管理本部長 (氏名) 友清 学 TEL (03) 6743-1551  
四半期報告書提出予定日 2024年6月14日 配当支払開始予定日 -  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
四半期決算説明会開催の有無：有（証券アナリスト・機関投資家向け、個人投資家向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年10月期第2四半期の連結業績（2023年11月1日～2024年4月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年10月期第2四半期	1,481	2.2	△93	—	△93	—	△94	—
2023年10月期第2四半期	1,450	28.2	△134	—	△137	—	△137	—

(注) 包括利益 2024年10月期第2四半期 △92百万円 (-%) 2023年10月期第2四半期 △138百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年10月期第2四半期	△29.64	—
2023年10月期第2四半期	△46.35	—

(注) 1. 2023年10月期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失金額のため、記載しておりません。

2. 2024年10月期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失金額のため、記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年10月期第2四半期	2,263	△44	△2.2
2023年10月期	2,024	39	1.9

(参考) 自己資本 2024年10月期第2四半期 △50百万円 2023年10月期 38百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年10月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年10月期	—	0.00	—	—	—
2024年10月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年10月期の連結業績予想（2023年11月1日～2024年10月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,275	11.6	32	—	30	—	10	—	3.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年10月期2Q	3,180,700株	2023年10月期	3,173,900株
② 期末自己株式数	2024年10月期2Q	254株	2023年10月期	254株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年10月期2Q	3,177,046株	2023年10月期2Q	2,971,043株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算補足資料及び決算説明会内容の入手方法について）

当社の決算補足説明資料は決算発表後速やかにTDnetに開示し、決算説明動画（録画）とともに当社ウェブサイトに掲載する予定です。また、2024年6月18日（火）に、機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当社グループが属するクラウドサービス市場においては、クラウドサービスを利用している企業の割合は引き続き上昇傾向にあります。総務省の令和5年「通信利用動向調査」によると、2023年度末におけるクラウドサービス利用企業の割合は77.7%（前年72.2%）に拡大しています。また、同調査によると、資本金規模別のクラウドサービス利用状況においても、資本金規模を問わずその利用率は拡大傾向が続いています。このように成長を続けるクラウドサービス市場の中で、当社が属するマーケティングオートメーション（SaaS）分野も例外ではなく、今後も8.6%（2022～2027年度の年平均成長率）の市場成長率が見込まれています（出典：株式会社富士キメラ総研「ソフトウェアビジネス新市場2023年版」）。

一方で、コロナ禍で影響を受けていた当社のマーケティング活動やイベントクラウド事業においては、コロナ禍を脱し、社会活動を取り戻しつつある中で、コロナ禍で培ったウェビナーを活用した自社マーケティング活動を継続しつつも、リアル展示会への出展や、リアルイベント開催への回帰の動きが鮮明となってきています。

このような状況の中、当第2四半期連結累計期間における売上高については、サブスクリプション事業を中心に概ね順調に推移しました。また、費用面については、近年、中期的な成長加速を実現するために積極的な採用を行ってきたことで人件費を中心に増加傾向が続いておりましたが、前期からの採用抑制や人事異動による人員の有効活用等により前年同期比で減少となっており、その分全体の収益性も改善傾向にあります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の当社グループの売上高は1,481,382千円（前年同期比2.2%増）、営業損失は93,557千円（前年同期は営業損失134,477千円）、経常損失は93,313千円（前年同期は経常損失137,024千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は94,182千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失137,717千円）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

セグメント名称	内容
サブスクリプション事業	■サブスクリプション（年間契約） MA、CMSのシステム利用料 MRR（月額契約金額）、従量課金、有償保守サービス、年間契約のBPOサービス
	■プロフェッショナル MA、CMSに関する初期導入サービス、BPOサービス、WEB制作、マーケティングコンサルティング等
イベントクラウド事業	SMPを用いたイベントのシステム支援（バーチャルイベントに関するシステム構築費を含む）、会期当日支援（機材レンタルを含む）
広告事業	デジタル広告の運用、コンサルティング
メタバース事業	株式会社ジクウが提供するメタバースイベントプラットフォームのシステム利用料、従量課金、初期導入サービス、BPOサービス等

## ①サブスクリプション事業

サブスクリプション事業は、「SHANON MARKETING PLATFORM」を中心とする年間利用契約に関する売上（サブスクリプション）とそれに付随する初期導入やコンサルティングサービス等の売上（プロフェッショナル）から構成されています。

当連結会計年度における売上高については、最重点方針として取り組んでいるサブスクリプション売上は、大口顧客を中心に順調に推移し、予算を上回る推移となりました。また、プロフェッショナル売上についても、概ね順調に推移しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間におけるサブスクリプション売上は792,806千円（前年同期比14.8%増）、プロフェッショナル売上は349,936千円（前年同期比2.8%減）、サブスクリプション事業全体の売上高は1,142,742千円（前年同期比8.8%増）、営業利益は82,440千円（前年同期比20.4%増）となりました。また、当第2四半期連結会計期間末における契約アカウント数は、550アカウント（前期末比△0.4%減）となりました。

## ②イベントクラウド事業

イベントクラウド事業は、前期後半からリアルイベント開催への回帰の傾向が鮮明となり、当社のイベントクラウド事業を取り巻く市場環境は改善してきています。当第2四半期連結累計期間においては、大型イベントの会期が少なかったため、前年同期比で減収減益となりましたが、通期予算達成に向けた受注は順調に推移しておりま

す。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は189,164千円（前年同期比26.1%減）、営業損失は6,730千円（前年同期は営業損失1,749千円）となりました。

### ③メタバース事業

メタバース事業は、リアルイベントへの回帰の流れは一部逆風となるものの、影響を受けるプライベートショーや展示会だけでなく、ウェビナー、採用イベントやマッチングイベント、ショールームなどの案件、社内イベント、周年イベントなど活用シーンにも広がりが出てきております。今後も多様化する活用シーンをしっかりと受注獲得機会に繋げられるように、積極的な事例公開や追加の機能開発にも引き続き取り組んでいます。また、直近では年間契約となる案件受注も発生しています。なお、費用面については現状に併せて体制を見直したことにより前年同期よりも大幅に縮小しています。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は18,202千円（前年同期比4.7%減）、営業損失は13,814千円（前年同期は営業損失35,468千円）となりました。

### ④広告事業

広告事業は、国内初のサードパーティークッキーに依存しないクッキーレス型のダイナミックリターゲティング広告の受注は予算には及ばなかったものの順調に受注を重ねています。また、既存の大口顧客の動向も計画に対して順調に推移しています。なお、セグメント損益については当上半期計画に対しては若干の上振れとなりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は131,272千円（前年同期比5.6%増）、営業損失は9,457千円（前年同期は営業利益9,704千円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、2,263,752千円（前連結会計年度末2,024,290千円）となり、239,461千円の増加となりました。このうち、流動資産は1,336,578千円（前連結会計年度末1,108,143千円）となり、228,434千円の増加となりました。この主な要因は、現金及び預金が422,372千円増加した一方で受取手形、売掛金及び契約資産が161,602千円減少したことによるものであります。また、固定資産は914,665千円（前連結会計年度末906,602千円）となり、8,063千円の増加となりました。この主な要因は、のれんが22,565千円減少した一方で、敷金が19,589千円、『SHANON MARKETING PLATFORM』の機能強化によるソフトウェア及びソフトウェア仮勘定の合計が1,989千円増加したことによるものであります。

### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、2,308,316千円（前連結会計年度末1,984,756千円）となり、323,559千円の増加となりました。このうち、流動負債は943,968千円（前連結会計年度末1,048,244千円）となり、104,276千円の減少となりました。この主な要因は、賞与引当金が29,703千円増加した一方で、前受金が120,416千円減少したことによるものであります。また、固定負債は1,364,348千円（前連結会計年度末936,512千円）となり、427,836千円の増加となりました。この主な要因は、長期借入金が71,750千円減少した一方で、社債が499,586千円増加したことによるものであります。

### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、△44,563千円（前連結会計年度末39,534千円）となり、84,097千円の減少となりました。この主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失を94,182千円計上したことを主因として利益剰余金が94,182千円減少したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年10月期の通期の業績予想につきましては変更ありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年4月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	400,862	823,234
受取手形、売掛金及び契約資産	491,197	329,595
仕掛品	50,902	49,878
その他	165,181	133,870
流動資産合計	1,108,143	1,336,578
固定資産		
有形固定資産	42,971	36,816
無形固定資産		
ソフトウェア	361,997	337,547
ソフトウェア仮勘定	30,476	56,917
のれん	209,566	187,001
その他	7,336	8,367
無形固定資産合計	609,377	589,833
投資その他の資産	254,252	288,015
固定資産合計	906,602	914,665
繰延資産	9,545	12,508
資産合計	2,024,290	2,263,752
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	119,047	88,384
1年内返済予定の長期借入金	157,158	148,264
1年内償還予定の社債	40,000	40,000
未払法人税等	14,534	11,090
前受金	452,164	331,747
賞与引当金	56,070	85,774
その他	209,269	238,706
流動負債合計	1,048,244	943,968
固定負債		
社債	694,460	1,194,046
長期借入金	242,052	170,302
固定負債合計	936,512	1,364,348
負債合計	1,984,756	2,308,316
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	548,276	550,010
資本剰余金	193,349	195,083
利益剰余金	△711,357	△805,539
自己株式	△485	△485
株主資本合計	29,783	△60,930
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	390	300
為替換算調整勘定	8,388	10,388
その他の包括利益累計額合計	8,778	10,689
新株予約権	971	5,677
非支配株主持分	—	—
純資産合計	39,534	△44,563
負債純資産合計	2,024,290	2,263,752

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年4月30日)
売上高	1,450,057	1,481,382
売上原価	529,254	587,629
売上総利益	920,802	893,752
販売費及び一般管理費	1,055,280	987,309
営業損失(△)	△134,477	△93,557
営業外収益		
受取利息	15	379
受取手数料	73	66
助成金収入	5,012	6,153
為替差益	778	—
その他	1,155	403
営業外収益合計	7,034	7,003
営業外費用		
支払利息	3,032	2,043
社債利息	286	195
為替差損	—	1,919
社債発行費償却	6,263	2,601
営業外費用合計	9,581	6,760
経常損失(△)	△137,024	△93,313
税金等調整前四半期純損失(△)	△137,024	△93,313
法人税、住民税及び事業税	693	868
法人税等合計	693	868
四半期純損失(△)	△137,717	△94,182
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△137,717	△94,182

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年4月30日)
四半期純損失(△)	△137,717	△94,182
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	134	△89
為替換算調整勘定	△1,373	2,000
その他の包括利益合計	△1,239	1,910
四半期包括利益	△138,956	△92,271
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△138,956	△92,271
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年4月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△137,024	△93,313
減価償却費	84,881	75,062
のれん償却額	13,612	22,565
賞与引当金の増減額(△は減少)	3,820	29,356
受取利息及び受取配当金	△15	△379
助成金収入	△5,012	△6,153
支払利息	3,032	2,043
社債利息	286	195
為替差損益(△は益)	△817	1,846
売上債権の増減額(△は増加)	9,518	163,085
棚卸資産の増減額(△は増加)	13,777	1,023
仕入債務の増減額(△は減少)	△33,947	△30,663
その他	△54,649	△92,699
小計	△102,538	71,968
利息及び配当金の受取額	—	45
利息の支払額	△3,268	△2,339
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	1,319	△3,522
助成金の受取額	5,012	6,153
営業活動によるキャッシュ・フロー	△99,474	72,306
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,620	△172
無形固定資産の取得による支出	△122,207	△74,992
投資有価証券の取得による支出	△60	△60
貸付けによる支出	△120	△135
貸付金の回収による収入	—	17,457
保険積立金の積立による支出	△13,125	△14,977
敷金の回収による収入	14,252	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△122,880	△72,879
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	374,403	—
短期借入金の返済による支出	△424,403	—
長期借入金の返済による支出	△55,991	△80,644
社債の償還による支出	△35,000	△20,000
転換社債型新株予約権付社債の発行による収入	614,460	514,021
新株予約権の発行による収入	4,111	4,705
新株予約権の買入消却による支出	△2,600	—
株式の発行による収入	104,748	3,468
財務活動によるキャッシュ・フロー	579,728	421,551
現金及び現金同等物に係る換算差額	△471	1,394
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	356,901	422,372
現金及び現金同等物の期首残高	264,179	400,862
現金及び現金同等物の四半期末残高	621,080	823,234

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I. 前第2四半期連結累計期間(自2022年11月1日至2023年4月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 2
	サブスクリプション事業	イベントクラウド事業	メタバー ス事業	広告事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,050,582	256,036	19,103	124,334	1,450,057	—	1,450,057
セグメント間の内部売上高又は振替高	8,330	—	1,523	1,388	11,242	△11,242	—
計	1,058,913	256,036	20,626	125,723	1,461,299	△11,242	1,450,057
セグメント利益又は損失(△)	68,459	△1,749	△35,468	9,704	40,945	△175,422	△134,477

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△175,422千円には、セグメント間取引消去△8,059千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△167,363千円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社の一般管理費です。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

## II. 当第2四半期連結累計期間(自2023年11月1日至2024年4月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 2
	サブスクリプション事業	イベントクラウド事業	メタバー ス事業	広告事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,142,742	189,164	18,202	131,272	1,481,382	—	1,481,382
セグメント間の内部売上高又は振替高	140	—	4,691	—	4,831	△4,831	—
計	1,142,882	189,164	22,893	131,272	1,486,213	△4,831	1,481,382
セグメント利益又は損失(△)	82,440	△6,730	△13,814	△9,457	52,438	△145,996	△93,557

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△145,996千円には、セグメント間取引消去192千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△146,188千円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社の一般管理費です。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。